

学生のみなさんへ

保健管理センター長

政府による緊急事態宣言が解除されて後、みなさんは基本的な感染防止対策に基づき、それぞれの工夫を取り入れつつ、感染防止を意識した「新しい生活」を模索していることと思います。

本学においても、様々な制約のもと、新しい形での教育研究活動を執り行い、みなさんが学業の機会を失うことなく安心して取り組めるよう、保健管理センターでもあらゆる対策を行っているところです。

しかしながら、緊急事態宣言解除後の感染者数はここにきて徐々に増加しつつあり、最近では20代の若い世代の感染の増加傾向が見られ、特に夜間の飲食店等、繁華街での集団感染が多く見られています。

高齢者や基礎疾患のある人が感染した場合の重症化リスクが高いといわれてきましたが、みなさんのような若い世代が感染した場合も重症化することが知られています。新型コロナウイルス SARS-Cov2 は季節性インフルエンザとはその病原性が大きくことなり、ウイルス性肺炎、ウイルス血症を引き起こし、全身臓器、血液凝固系、神経系に悪影響を与えます。感染後の深刻な後遺症も報告されています。欧州の一部の国では、このウイルスに徐々に感染させることで集団免疫を獲得すればよいとの考え方を基に対処した結果、予想に反して多くの犠牲者を生み、この考え方が本ウイルスの病原性を軽視した考え方であったことがわかりました。

また、本ウイルスに感染した後、発症するまでの潜伏期が1-12.5日（多くは5-6日）と長く、発症前から感染力をもつウイルスが体外に排出され、症状が無い感染者からの感染が確認されています。症状の有無だけで本ウイルスへの感染の可能性を否定することは不可能であり、マスクや2mの距離をとらずに人に話かける人は、知らないうちに他人にウイルスを感染させている可能性があります。

最近、夜の飲食店、繁華街での感染例が報告されていますが、夜の飲食では酒類が提供されることが多く、飲酒によりマスクをせずに発声する機会が多くなることが感染の原因の一つとして考えられます。したがって、夜間の飲食店等、繁華街への外出、あるいは夜間の飲食店等、繁華街でのアルバイトには大きな感染のリスクがあると考えられます。

みなさんとみなさんの家族、大切な友人たち、周囲の人々の命を守るため、今一度感染防止対策を見直し、感染のリスクを可能な限り低減するために、特に次のことを心にとめてください。

○夜間の飲食店等の繁華街への外出を控える

○三つの密(換気の悪い密閉空間、多くの人が密集する場所、近距離の会話や発声をする密接場面)の可能性のある娯楽施設等に可能な限り立ち入らない

なお、文部科学省から、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」について以下の案内がありましたのでお知らせします。

<文部科学省からの案内>

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資するよう、厚生労働省で開発を進めていた「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」が先日リリースされました。

本アプリは、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、感染の可能性をいち早く知ることができます。それにより検査の受診など保健所のサポートを早く受けることや外出自粛など適切な行動を取ることができ、感染拡大の防止につながることを期待されます。

なお、個人が特定される情報や、陽性者と接触者（接触の可能性がある」と通知を受けた者）との関係についての情報は一切記録されず、プライバシーは十分に保護されています。

以 上